

# 都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング ～ 宣言解除前後の推移 ～

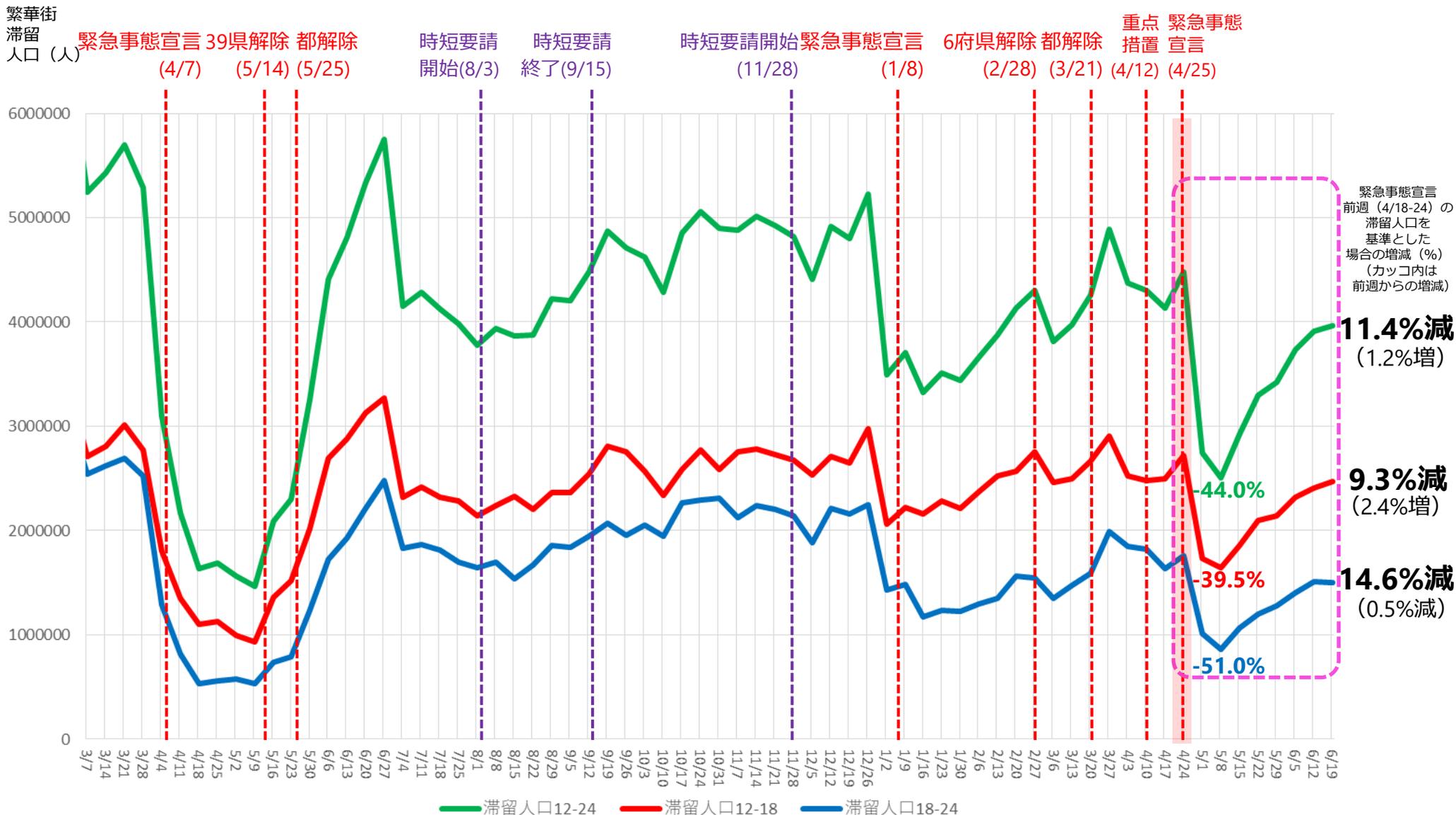
東京都医学総合研究所  
社会健康医学研究センター  
西田 淳志

# 都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

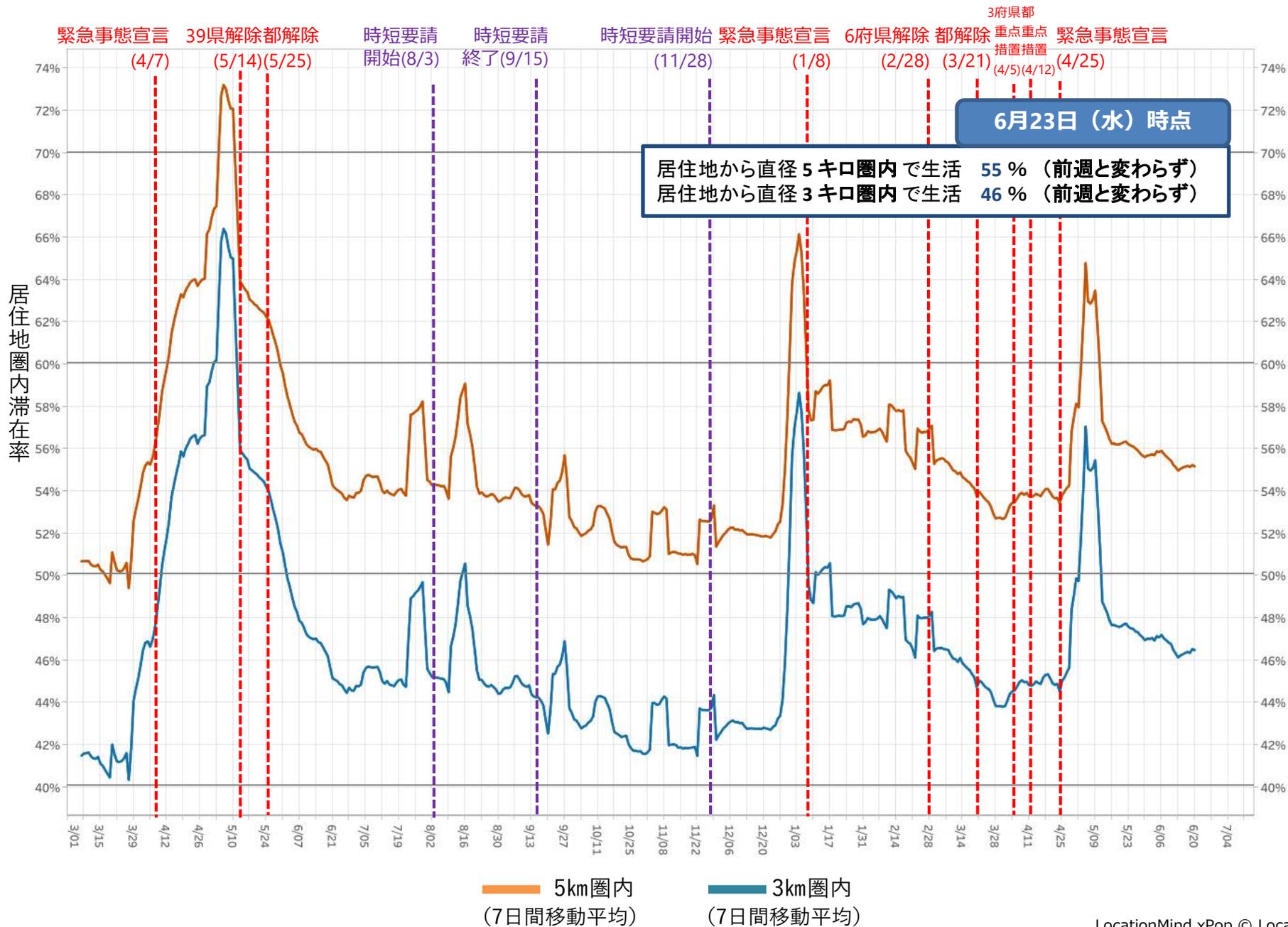
## <要点>

- 5週にわたって増加が続いていた繁華街滞留人口は、宣言解除前1週間で増加が止まり一時横ばいとなるも（前週比：夜間 0.5 %減、昼間 2.4 %増）、解除後に再び増加に転じている（解除後3日間で夜間 7.1 %増、昼間1.3% 増）。
- すでに実効再生産数 ( $R_t$ ) は1.0 に到達、人流も3月20日前後（第4波入り口）の水準まで上昇している。解除後の人流増加が続くと、数週後には感染者数が急増するリスクがあり、強い警戒が必要。
- 今後の急激な感染再拡大を抑えるために、引き続き、繁華街滞留人口、特に夜間滞留人口の増加を抑制する必要がある。

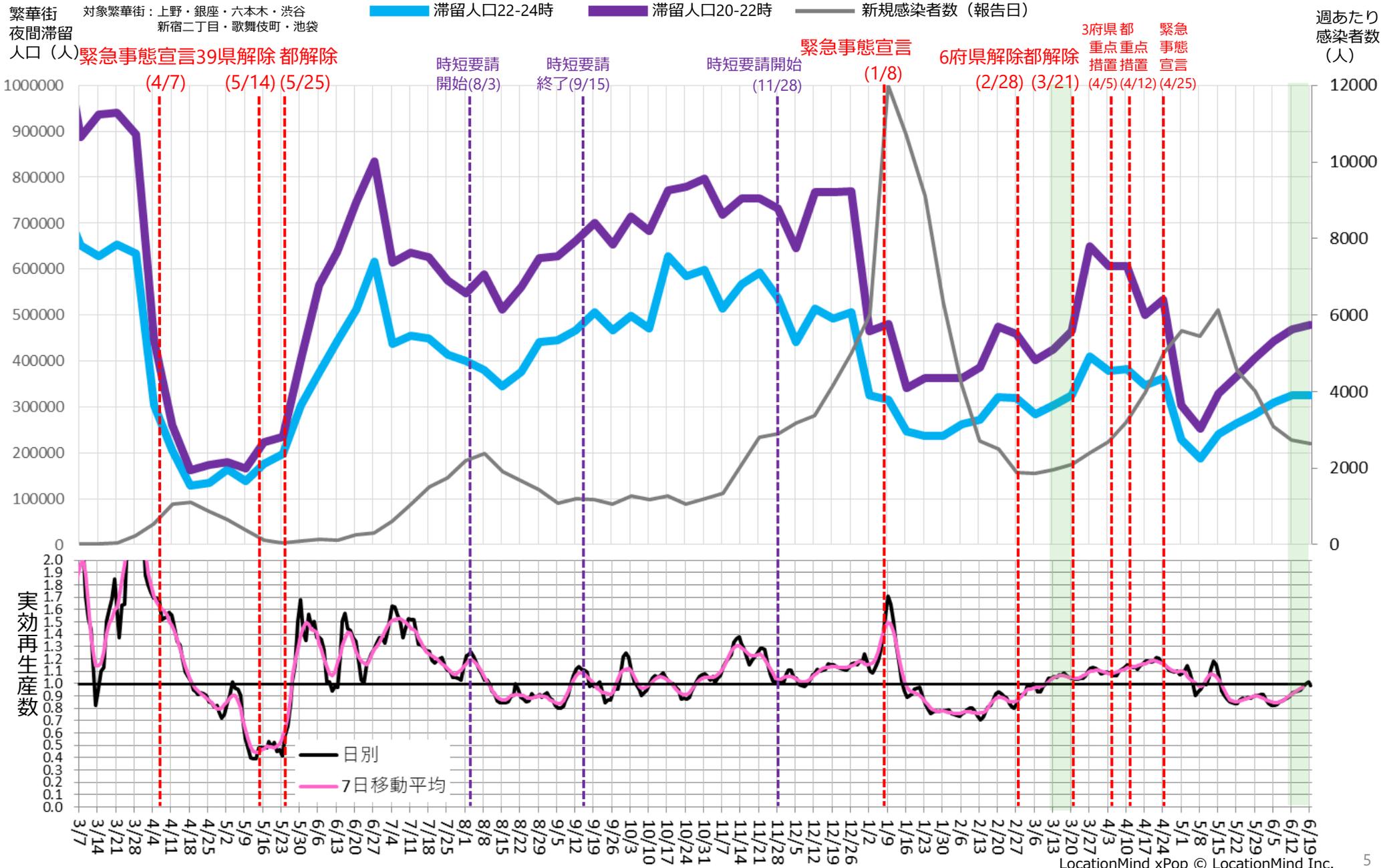
# 時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2021年6月19日）



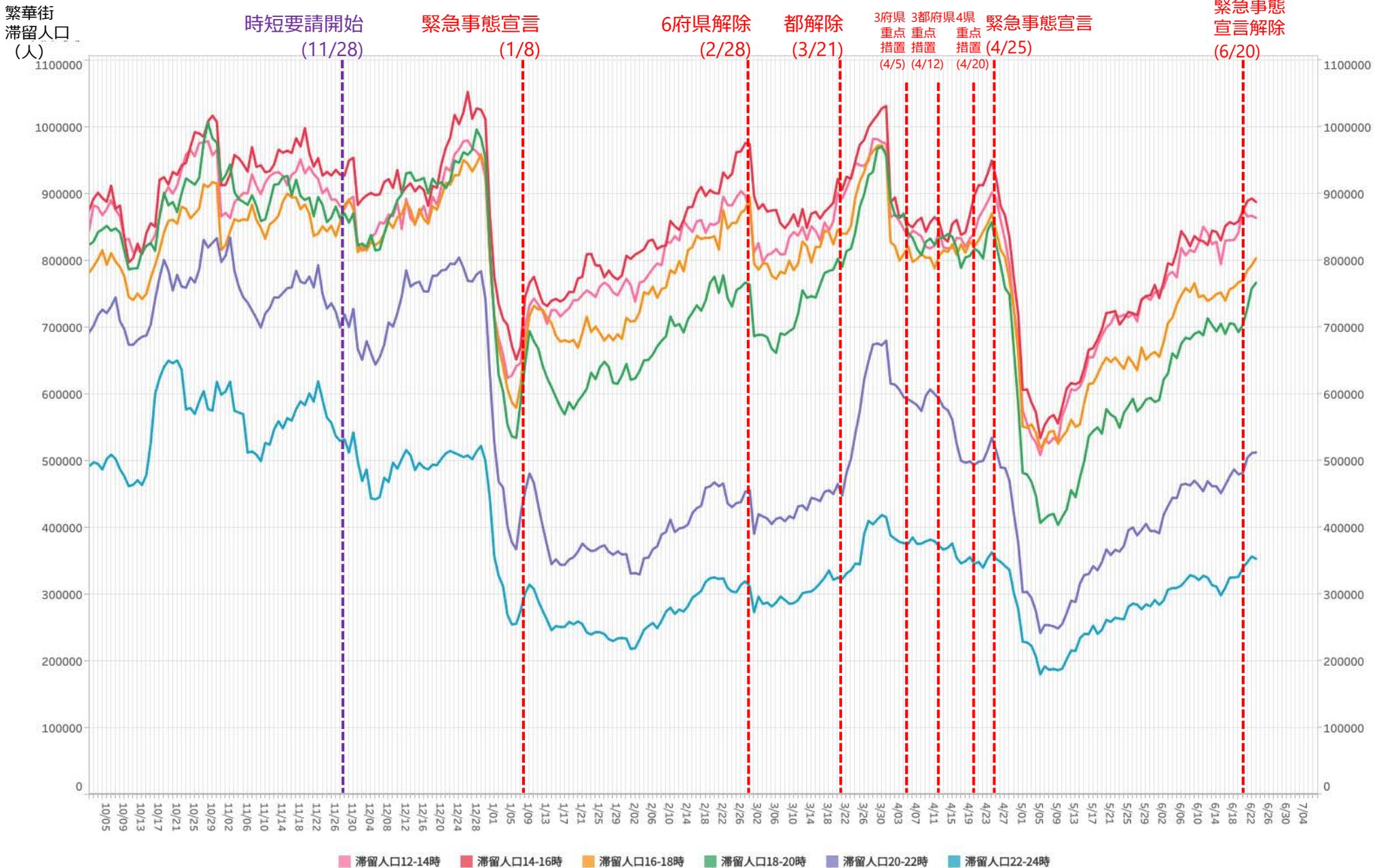
# ステイホーム指標（2020年3月1日～2021年6月23日）：東京都内全域



# 主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年6月19日)



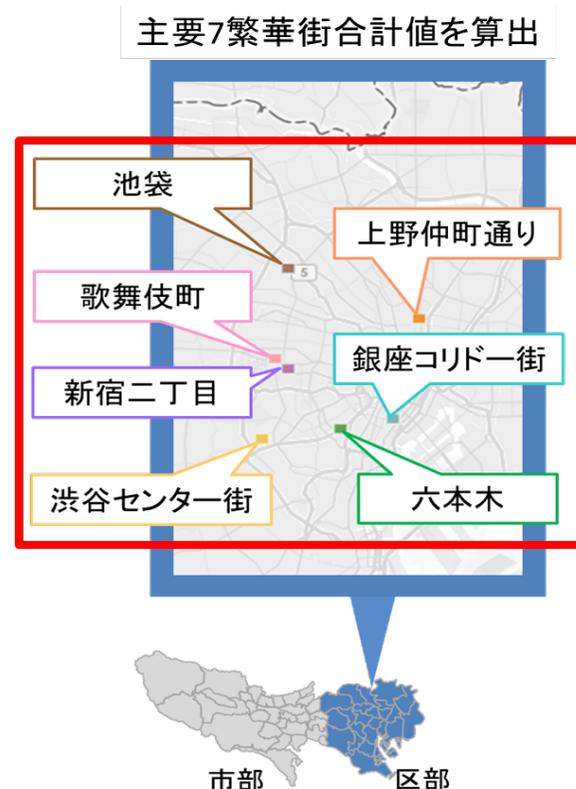
# 時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年6月23日）



※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

# ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定**※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を  
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、  
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント